

平成16年3月期 第1四半期業績の概況(連結)

平成15年8月7日

上場会社名 日本精工株式会社
 コード番号 6471
 (URL <http://www.nsk.com>)

上場取引所 東・大・名・福・札
 本社所在都道府県 東京都

代表者 役職名 取締役社長 氏名 朝香 聖一
 問合せ先責任者 役職名 執行役員 経理部長 氏名 三木 玄夫 TEL (03) 3779-7056
 決算取締役会開催日 平成15年8月7日 米国会計基準採用の有無 無

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法の最近連結会計年度における方法との相違の有無 : 有
 影響額が僅少なものについては、一部簡便的な手続きを用いております。

連結及び持分法の適用範囲の異動の状況 : 連結子会社(増加)1社 (減少)2社
 四半期業績の概況の作成初年度であるため、15年3月期第1四半期との対比は行っておりません。

2. 16年3月期の連結業績(平成15年4月1日~平成15年6月30日)

(1) 連結経営成績の進捗の状況 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	売上高		営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
16年3月期第1四半期	125,699	-	4,148	-	3,414	-
(参考)15年3月期	522,820		17,847		10,821	

	四半期(当期)純利益		1株当たり 四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益	
	百万円	%	円 銭		円 銭	
16年3月期第1四半期	1,355	-	2 51		-	
(参考)15年3月期	2,670		5 22		-	

(2) 連結財政状態の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
16年3月期第1四半期	609,365	175,272	28.8	325 00
(参考)15年3月期	593,098	170,566	28.8	316 27

(注) 期末発行済株式数(連結) 15年6月期 539,305,262株 15年3月期 539,313,053株

[連結キャッシュ・フローの状況]

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
16年3月期第1四半期	9,879	2,556	1,404	64,996
(参考)15年3月期	30,961	16,223	11,819	58,938

3. 平成16年3月期の連結業績予想(平成15年4月1日~平成16年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
中間期	253,000	10,000	7,000	3,000
通期	498,000	23,000	17,000	9,000

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 16円69銭

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

なお、上記業績予想に関する事項については、3ページを参照して下さい

経営成績

1. 当第1四半期の概況

(1) 業績

当第1四半期におけるわが国経済は、所得、雇用環境は依然として厳しいものの消費は底固さを維持してきましたが、前年の景気を牽引した外需に力強さが欠け、また設備投資も本格的回復とはいえず、いまだ低迷のなかでの横ばい状況が続きました。

海外においては、米国経済は企業収益に改善がみられるものの雇用情勢は一段と厳しく、設備投資が1-3月に減少に転ずるなど回復力が弱まり、欧州経済はユーロ高の影響などから景気が停滞しました。また、アジア諸国はSARSの影響もあり、景気の拡大が緩やかとなりました。

このような状況の中、当社グループは利益体質強化による収益向上に努めて参りました結果、第1四半期の連結業績については、売上高は1,256億99百万円、営業利益は41億48百万円で営業利益率は3.3%となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

軸受

自動車産業向けが、国内、海外ともに順調に推移し、売上水準は増加しました。一般産業向けについて国内は増加しましたが、海外は横ばいの水準となりました。その結果、軸受の売上高は808億7百万円、営業利益は43億13百万円となりました。

自動車関連部品

国内売上はベルト事業譲渡の影響があり減少となりましたが、それ以外の自動車関連部品の売上はほぼ横ばいとなりました。海外は米州、アジアにおいて売上が大きく伸びました。その結果、自動車関連部品全体の売上高は317億81百万円、営業利益は10億17百万円となりました。

精密機器関連製品

IT関連、工作機械向けなどの需要に回復がみられ、国内売上が大幅増の水準となりました。米州もまだ低い水準にありますが売上が伸びました。欧州は若干の落ち込みとなりました。アジアはシステム製品の売上が減少しました。その結果、売上高は94億63百万円となりましたものの、7億96百万円の営業損失となりました。

その他

当期売上高は36億46百万円、営業利益は3億71百万円となりました。

所在地別セグメントの業績は次のとおりであります。

日本

軸受販売では、工作機械向け、一般機械向け、市販向けが回復してきましたが、電機・情報向けが減少しました。自動車向けは自動車生産台数は減となりましたが売上は伸ばすことができました。自動車関連部品はベルト事業譲渡の影響で減となりましたが、これ以外ではほぼ横ばいの売上水準でありました。精密機器関連製品は大幅な売上の増となりました。

この結果、売上高は738億22百万円となり、営業利益は41億87百万円となりました。

米州

軸受は自動車産業向けが増加基調でありましたが、一般産業向けは米国において電機向け等が不振でありました。自動車関連部品は日系メーカーの生産が好調で売上を伸ばすことができました。精密機器関連製品についても売上増となりました。対ドルで円高為替の影響がありました結果、売上高は184億16百万円となり、営業利益は2億95百万円となりました。

欧州

自動車向けの軸受が増加しましたが、自動車関連部品が横ばいであったほか、産業向け軸受、精密機器関連製品は前年を下回る水準となりました。対欧州通貨で円安の影響がありました結果、売上高は222億39百万円となりました。更に収益体質改善の効果があり営業損失は1億37百万円と圧縮されております。

アジア

軸受は中国の経済成長と現地生産の拡大があり売上が増加しましたほか、韓国も順調に推移しましたが、アセアンにおいてはHDD用軸受の減少、中国への需要のシフトなどにより減少しました。自動車関連部品は現地生産で大幅増、精密機器関連製品はほぼ横ばいで、アジア全体の売上は112億20百万円となり、営業利益は12億89百万円となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期の連結キャッシュ・フローの状況につきましては、営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益40億20百万円や減価償却費64億7百万円等により、98億79百万円の増加となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出35億52百万円や有形固定資産の売却による収入18億42百万円等により25億56百万円の減少となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは配当金の支払額11億98百万円等により、14億4百万円の減少となりました。

これらの増減に換算差額を加算いたしました結果、現金及び現金同等物の増加額は60億58百万円となり、当第1四半期末の現金及び現金同等物の残高は649億96百万円となりました。

2. 業績見通し

今後の世界経済を展望しますと、欧州の景気減速、中国の成長鈍化などなお不透明感が残るものの日本経済、米国経済に足踏み状態から変化の兆しが出てきたことを示す指標も現れはじめてきております。

このような状況下で中間期の業績見通しにつきまして上方への見直しを行い、それに伴い通期の業績も修正いたします。中間期は売上高2,530億円、営業利益100億円、経常利益70億円、当期純利益30億円、通期は売上高4,980億円、営業利益230億円、経常利益170億円、当期純利益90億円を予想しております。

連結財務諸表等

連結貸借対照表

(単位 百万円)

科 目	当 第 1 四 半 期 (平成 15 年 6 月 30 日現在)	前連結会計年度 (平成 15 年 3 月 31 日現在)	比 較 増 減 対 前連結会計年度
(資産の部)			
流動資産	293,584	285,749	7,835
現金及び預金	43,312	37,271	6,041
受取手形及び売掛金	111,628	113,513	1,885
有価証券	15,567	17,565	1,998
棚卸資産	80,944	83,487	2,543
その他の流動資産	43,783	35,186	8,597
貸倒引当金	1,651	1,276	375
固定資産	315,780	307,349	8,431
有形固定資産	193,194	198,635	5,441
建物及び構築物	63,833	65,282	1,449
機械装置及び運搬具	92,059	95,517	3,458
土地	22,902	22,915	13
その他の有形固定資産	14,398	14,920	522
無形固定資産	2,805	2,732	73
投資その他の資産	119,780	105,981	13,799
投資有価証券	85,795	79,697	6,098
前払年金費用	22,924	14,842	8,082
繰延税金資産	5,187	5,325	138
その他の投資その他の資産	7,237	7,577	340
貸倒引当金	1,365	1,461	96
資産合計	609,365	593,098	16,267

(単位 百万円)

科 目	当 第 1 四 半 期 (平成 15 年 6 月 30 日現在)	前 連 結 会 計 年 度 (平成 15 年 3 月 31 日現在)	比 較 増 減 対 前 連 結 会 計 年 度
(負債の部)			
流動負債	237,691	227,314	10,377
支払手形及び買掛金	85,436	87,382	1,946
短期借入金	88,664	93,102	4,438
社 債	20,000	10,000	10,000
未払法人税等	6,133	3,816	2,317
その他の流動負債	37,457	33,012	4,445
固定負債	184,582	183,481	1,101
社 債	96,989	106,989	10,000
長期借入金	59,137	57,688	1,449
退職給付引当金	15,363	6,503	8,860
役員退職慰労引当金	1,522	1,668	146
その他の固定負債	11,570	10,631	939
負債合計	422,274	410,795	11,479
(少数株主持分)			
少数株主持分	11,818	11,736	82
(資本の部)			
資 本 金	67,176	67,176	-
資 本 剰 余 金	77,923	77,923	-
利 益 剰 余 金	49,721	48,366	1,355
その他有価証券評価差額金	9,217	5,133	4,084
為替換算調整勘定	24,401	23,670	731
自 己 株 式	4,365	4,362	3
資 本 合 計	175,272	170,566	4,706
負債、少数株主持分及び資本合計	609,365	593,098	16,267

連結損益計算書

(単位 百万円)

科 目	当第1四半期 自平成15年4月1日 至平成15年6月30日		前連結会計年度 自平成14年4月1日 至平成15年3月31日	
	金額	対売上高 比率	金額	対売上高 比率
		%		%
売上高	125,699	100.0	522,820	100.0
売上原価	99,887	79.5	420,104	80.4
売上総利益	25,812	20.5	102,715	19.6
販売費及び一般管理費	21,664	17.2	84,867	16.2
営業利益	4,148	3.3	17,847	3.4
営業外収益	1,872	1.5	8,100	1.6
受取利息及び配当金	499	0.4	1,815	0.4
持分法による投資利益	774	0.6	3,378	0.6
雑益	597	0.5	2,905	0.6
営業外費用	2,606	2.1	15,126	2.9
支払利息	1,587	1.3	6,567	1.3
雑損	1,018	0.8	8,558	1.6
経常利益	3,414	2.7	10,821	2.1
特別利益	707	0.6	15,977	3.1
投資有価証券売却益	194	0.2	3,203	0.6
関係会社株式売却益	513	0.4	-	-
退職給付信託設定益	-	-	11,891	2.3
固定資産売却益	-	-	881	0.2
特別損失	101	0.1	28,925	5.6
投資有価証券評価損	101	0.1	12,899	2.5
事業構造改善費用	-	-	15,030	2.9
関係会社株式売却損	-	-	844	0.2
退職給付引当金繰入額	-	-	151	0.0
税金等調整前当期純利益 又は税金等調整前当期純損失()	4,020	3.2	2,127	0.4
法人税、住民税及び事業税	5,647	4.5	5,380	1.0
法人税等還付額	-	-	216	0.0
法人税等調整額	3,122	2.5	4,193	0.8
少数株主利益	140	0.1	-	-
少数株主損失	-	-	426	0.1
当期純利益又は当期純損失()	1,355	1.1	2,670	0.5

連結剰余金計算書

(単位 百万円)

科 目	当第1四半期 自 平成15年4月1日 至 平成15年6月30日	前連結会計年度 自 平成14年4月1日 至 平成15年3月31日
資本剰余金の部		
資本剰余金期首残高	77,923	77,923
資本剰余金期末残高	77,923	77,923
利益剰余金の部		
利益剰余金期首残高	48,366	53,921
利益剰余金増加高	1,355	-
当期純利益	1,355	-
利益剰余金減少高	-	5,554
当期純損失	-	2,670
配当金	-	2,711
役員賞与	-	172
利益剰余金期末残高	49,721	48,366

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位 百万円)

科 目	当 第 1 四 半 期 自 平成 15 年 4 月 1 日 至 平成 15 年 6 月 30 日	前 連 結 会 計 年 度 自 平成 14 年 4 月 1 日 至 平成 15 年 3 月 31 日
	金 額	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー		
1.税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失()	4,020	2,127
2.減 価 償 却 費	6,407	28,812
3.貸倒引当金の増減額(減少:)	265	1,060
4.退職給付引当金及び前払年金費用の増減額	1,328	15,076
5.受取利息及び受取配当金	499	1,815
6.支 払 利 息	1,587	6,567
7.持分法による投資利益	774	3,378
8.有形固定資産売却益	-	881
9.投資有価証券売却益	194	3,203
10.投資有価証券評価損	108	12,899
11.関係会社株式売却益	513	-
12.関係会社株式売却損	-	844
13.事業構造改善費用	-	2,087
14.売上債権の増減額(増加:)	1,531	2,354
15.棚卸資産の増減額(増加:)	750	10,577
16.仕入債務の増減額(減少:)	1,640	1,316
17.そ の 他	4,624	3,252
小 計	13,938	36,459
18.利息及び配当金の受取額	1,425	3,367
19.利息の支払額	1,901	7,475
20.法人税等の支払額	3,583	1,389
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,879	30,961
投資活動によるキャッシュ・フロー		
1.有形固定資産の取得による支出	3,552	24,734
2.有形固定資産の売却による収入	1,842	3,065
3.投資有価証券の取得による支出	14	1,088
4.投資有価証券の売却による収入	510	7,227
5.連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	-	1,046
6.関係会社株式の売却による支出	218	-
7.持分法適用会社株式の取得による支出	-	565
8.貸付金の貸付による支出	216	178
9.貸付金の回収による収入	38	198
10.そ の 他	945	1,194
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,556	16,223
財務活動によるキャッシュ・フロー		
1.短期借入金の純増減額(減少:)	1,402	7,025
2.長期借入による収入	1,947	13,014
3.長期借入金の返済による支出	560	11,148
4.社債の償還による支出	-	20,000
5.社債の発行による収入	-	20,000
6.自己株式の取得による支出	2	3,665
7.配当金の支払額	1,198	2,721
8.少数株主への配当金の支払額	37	140
9.そ の 他	150	132
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,404	11,819
現金及び現金同等物に係る換算差額	139	539
現金及び現金同等物の増減額	6,058	2,380
現金及び現金同等物の期首残高	58,938	56,558
現金及び現金同等物の期末残高	64,996	58,938

セグメント情報

1. 事業の種類別セグメント情報

(単位 百万円)

	当第1四半期				自 平成15年4月1日 至 平成15年6月30日		
	軸受	自動車 関連部品	精密機器 関連製品	その他	計	消去 又は全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	80,807	31,781	9,463	3,646	125,699	-	125,699
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	1,326	1,326	(1,326)	-
計	80,807	31,781	9,463	4,973	127,025	(1,326)	125,699
営業費用	76,494	30,763	10,259	4,602	122,120	(569)	121,551
営業利益又は営業損失()	4,313	1,017	796	371	4,905	(757)	4,148

(単位 百万円)

	前連結会計年度				自 平成14年4月1日 至 平成15年3月31日		
	軸受	自動車 関連部品	精密機器 関連製品	その他	計	消去 又は全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	321,960	150,663	34,898	15,297	522,820	-	522,820
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	4,682	4,682	(4,682)	-
計	321,960	150,663	34,898	19,980	527,502	(4,682)	522,820
営業費用	299,817	146,402	41,189	18,854	506,264	(1,291)	504,972
営業利益又は営業損失()	22,142	4,260	6,290	1,126	21,238	(3,391)	17,847

2. 所在地別セグメント情報

(単位 百万円)

	当第1四半期					自 平成15年4月1日 至 平成15年6月30日	
	日本	米州	欧州	アジア	計	消去 又は全社	連結
売上高							
(1)外部顧客に 対する売上高	73,822	18,416	22,239	11,220	125,699	-	125,699
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	19,296	62	976	2,699	23,035	(23,035)	-
計	93,118	18,478	23,216	13,920	148,734	(23,035)	125,699
営業費用	88,931	18,183	23,354	12,631	143,100	(21,549)	121,551
営業利益又は営業損失()	4,187	295	137	1,289	5,633	(1,485)	4,148

	前連結会計年度					自 平成14年4月1日 至 平成15年3月31日	
	日本	米州	欧州	アジア	計	消去 又は全社	連結
売上高							
(1)外部顧客に 対する売上高	319,465	77,083	81,483	44,786	522,820	-	522,820
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	76,069	302	3,517	12,715	92,605	(92,605)	-
計	395,535	77,386	85,001	57,502	615,425	(92,605)	522,820
営業費用	378,368	75,387	87,352	52,960	594,068	(89,095)	504,972
営業利益又は営業損失()	17,167	1,999	2,351	4,541	21,357	(3,510)	17,847

3. 海外売上高

(単位 百万円)

	当第1四半期			
	自 平成15年4月1日 至 平成15年6月30日			
	米州	欧州	アジア	計
海外売上高	18,756	22,251	19,091	60,098
連結売上高				125,699
連結売上高に占める 海外売上高の割合	% 14.9	% 17.7	% 15.2	% 47.8

(単位 百万円)

	前連結会計年度			
	自 平成14年4月1日 至 平成15年3月31日			
	米州	欧州	アジア	計
海外売上高	81,785	81,418	80,356	243,560
連結売上高				522,820
連結売上高に占める 海外売上高の割合	% 15.6	% 15.6	% 15.4	% 46.6